

【英語】

～ClassPad.net の各種ふせん・授業支援機能を活用する～

接続詞 if の導く節の働きについて考える授業

接続詞 if を題材として、仮定法と直説法の違いについて理解を深める。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：「if の使用＝仮定法」という固定観念から、主体的に抜け出させる指導をする。

生徒向けの目標：例文を用いて if の様々な用法について学び、それぞれの用法を意識しながら自身で英文を書いたり、発話したりできるようになることを目指す。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **板書時間削減** : 必要な情報はすべて、事前に作成しておいたテキストふせん・EX-word ふせんを投影するだけで済む。
- ・ **生徒の集中力アップ** : EX-word 機能を利用することにより、ネットや SNS の誘惑無しで、信頼のある情報検索をさせることができる。
- ・ **評価／評定の効率化** : 録音ふせんを利用した音声吹き込みにより、スピーキングの表現技術向上を図るとともに、正確な評価に役立てることができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【授業の概要】

- ・ 接続詞 if の様々な用法に触れてみよう！
- ・ 「**仮定法過去**」と「**直説法**」の違いを正しく理解しよう！
- ・ 接続詞 if を使って、実際に英文を作って話してみよう！

概要の説明

事前に if を用いた英文を 2 文程度作文させ、提出させておく。その上で、「もし～ならば」という意味で丸暗記されがちな if という語について、その品詞や様々な用法を理解するという目標を提示する。

事前の課題はテキストふせんに作文させ、授業支援機能で回収しておく。英作文の中で良いものがあれば、クラス全体にも共有する。

step2

次の①～③の英文を日本語に訳してみよう！

- ① if I were in your place,
I would go there immediately.
- ② if it is sunny tomorrow,
we will have a barbecue in the yard.
- ③ She looked in the refrigerator to see
if there was anything to drink.

このふせんに和訳を書いて提出しよう！

- ①
- ②
- ③

英文の和訳

if を用いた 3 つの例文を提示し、辞書で単語の意味を調べながら和訳させ、提出させる。

例文は事前にテキストふせんを用いて作成しておき、授業支援機能で生徒に共有するとともに、電子黒板・プロジェクターなどで見せる。

意味調べには EX-word ふせんを利用させ、上記のテキストふせん付近に並べさせたり、単語学習用のデジタルノートに保存させたりする。

和訳はテキストふせんに記載させ、授業支援機能で回収する。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step3

【文法事項の解説】

① If I were in your place,
I would go there immediately.
「もし私があなたの立場にいれば、すぐそこに行くだろう。」

→ If + S + V(過去形), S' + 助動詞の過去形 + V(原形)...
「もし(今)～ならば、(今)～だろう」

(仮定法過去)
事実ではない、主観的な想像や仮定を表す。
現在(=現実)から離れた「過去時制」を使うことで
仮定の内容を表すことができる。

文法事項の解説

step2 で和訳させた英文を用いて、

- ・直説法
- ・仮定法過去
- ・名詞節を導く if

について、それぞれ解説する。

その際、step2 で回収した和訳の中から特徴的なものを取り上げて言及する。

事前にテキストふせんを用いて作成した文法事項の要点まとめを授業支援機能で生徒に共有するとともに、電子黒板・プロジェクターなどで見せながら解説する。

step4

【接続詞のifの活用】
ifを使った英文を作り、それを文法的に説明してみよう！

① 疲れているなら、休憩するべきです。
<ヒント> break

② もし私にそれしてくれるならば、とても嬉しいです。
<ヒント> glad

③ その絵画が本物かどうか、誰にもわかりません。
<ヒント> no one, painting, genuine

このふせんに英訳を書き、グループ内で解説し合おう！

- ①
- ②
- ③

和文英訳

step3 ままでに学んだifの用法を意識して、3種類の和文英訳に取り組ませる。その際、3人ずつにグループ分けをし、1人1文を担当させる。重要な単語は先に意味を提示しておき、その他にも分からない単語があれば、意味を調べるよう指示する。

3人とも和文英訳が終わったら、グループ内で解説し合ってもらおう。

重要な単語はEX-word ふせんを作っておき、授業支援機能で生徒に送信する。

また、その他の単語の意味調べについても、step2 と同様にEX-word 機能を利用してもらう。

英訳したものはテキストふせんに記載させ、グループ内で共有させることで解説に役立ててもらおう。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能をご利用いただけます。

step5

【接続詞のifの活用】
身近なテーマについて、英語で自分の考えを述べてみよう！
その際、ifを使った英文を2種類以上盛り込んでみよう！

<テーマ例>
dream / free time / what you want / hobby / club activities / plans for this weekend

<ヒント>
・ If I were ~ / know if ~ / wonder if ~
・ much more money
・ in my free time
・ after school
・ sunny / mild / rainy

自由英作文・机間指導

ifの用法を用いて、自身に関連する身近なテーマについて、自由に英文を作らせる。さらに、作った英文を発話させ、録音して提出するよう指示した上で、時間の許す限り教室を回って、作らせた英文や発音についてフィードバックする。

英作文はテキストふせんに記載させる。発話の録音には録音ふせんを利用させ、英作文を書いたテキストふせんとともに授業支援機能で回収する。

step6

【まとめ】

・「接続詞のif」の複数の用法を覚えておこう！
→ 仮定法過去、条件を表すif、名詞節を導くif

・授業中に先生から送られた各種ふせんを、デジタルノートにきちんと整理し、復習しやすくしておこう！

まとめ

授業で扱った内容を振り返りながら、重要な点を強調しておく。

教師の説明をただ聞くだけでなく、授業内で配布した各種ふせん類をデジタルノート上にきちんと整理して配置し、復習に役立てるよう指示する。

step7

【Challenge】

・「仮定法過去」「条件を表すif」「名詞節を導くif」のそれぞれの用法に関する、並べ替え問題にチャレンジしてみよう！

参考・補足

接続詞ifに関連する、大学入試レベルの整序英作文問題を3題程度出題し、チャレンジを促す。

解答はテキストふせんに記載させ、授業支援機能で回収し、添削・コメントなどを付けて返却する。